様式第二号の八（第八条の四の五関係）

那覇市廃棄物対策課
受付
2. 7. 20
環境部
第　　号

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和２年　7 月 20日

那覇市長　　　　　　　　　殿

提出者
住　所　沖縄県那覇市首里赤田町３丁目４番地
氏　名　有限会社松都建設　代表取締役　松川　禎
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　（０９８）８８４－３３３０

有限会社松都建設之印

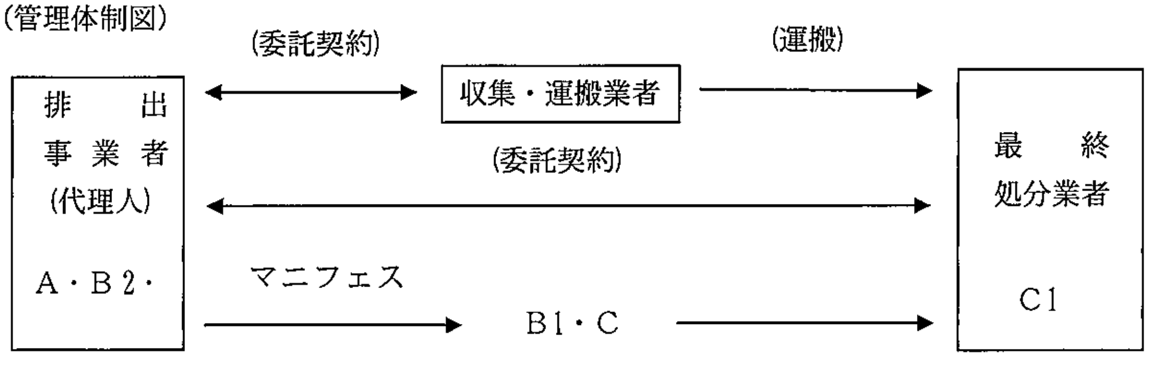
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鏡原中学校屋内運動場及びプール解体工事（令和元年に工事有）
事業場の所在地	那覇市鏡原町３６番１号
計画期間	令和　２年　４月　１日～令和　３年　３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：Ｄ建設業、 中分類：０６総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　１億２千万円
③従業員数	４人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	解体→分別→運搬（委託）→処分（委託）

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



委託契約書（許可証写）及びマニフェストにて管理している

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和　元　年度）実績】

産業廃棄物の種類	「別紙のとおり」	
排　　出　　量	「別紙のとおり」	t

（これまでに実施した取組）

・マニフェスト実施の徹底
・分別の徹底

② 計画

【目標】　　今年度は、那覇市での工事未定

産業廃棄物の種類		
排　　出　　量	０ t	０ t

（今後実施する予定の取組）
・令和２年度は、工事予定がない為、産業廃棄物排出計画はありません。

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 再資源利用計画書（報告） 分別の教育訓練
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 再資源利用計画書（報告） 現場毎の分別

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　　　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　　　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="5">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　　　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="5">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　元　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙とおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>別紙とおり</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>別紙とおり</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>別紙とおり</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>０ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>０ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・マニフェスト実施の徹底
・分別の徹底</td></tr>
</table>

② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	０ｔ	０ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	ｔ	ｔ
	再生利用業者への処理委託量	ｔ	ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	ｔ	ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） ・~~平成３０~~ 令和２ 年度は、工事予定がない為、産業廃棄物排出計画はありません。		
※事務処理欄			

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴ ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵ ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶ ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

（第２面－別紙）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和元年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず	石綿含有産業廃棄物(成形板)	木くず(内部)	廃石膏ボード	木毛セメント	蛍光ランプ(水銀使用製品産業廃棄物)	廃プラスチック類	混合廃棄物	ろ過材	木くず(樹木)	
排出量	3,542.02t	2.27t	0.37t	40.67t	0.15t	3.57t	0.028t	1.95t	0.20t	1.77t	5.31t	

（第４面－別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	【前年度（令和元年度）実績】												
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず	石綿含有産業廃棄物(成形板)	木くず(内部)	廃石膏ボード	木毛セメント	蛍光ランプ(水銀使用製品産業廃棄物)	廃プラスチック類	混合廃棄物	ろ過材	木くず(樹木)	
①現状	全処理委託量	3,542.02t	2.27t	0.37t	40.67t	0.15t	3.57t	0.028t	1.95t	0.20t	1.77t	5.31t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	2.27t	0.37t	0t	0t	0t	0t	1.95t	0.20t	0t	0t	
	再生利用業者への処理委託量	3,542.02t	0t	0t	40.67t	0.15t	3.57t	0.028t	0t	0t	1.77t	5.31t	

金属くず